



コロナ禍である現状では、これまでと異なる生活様式を強いられており、今後もしばらくは対面で気兼ねなく会話をする事は制限されると考えられます。一方で、欧米各地で見られるような天然の芝生の公園があれば、コロナ禍でも会話を可能とした憩いの場として活用できると思われまます。芝生はクッション性が高く、運動もしやすいことに加えて、芝生の『緑』は心理的ストレスを軽減することから、心身の健康増進にも働くとおもいます。

コロナ禍のいまこそ、芝生化が必要だと考えます。そこで、上田市を拠点とする信州大学繊維学部校庭グラウンドの芝生化を実現すべく、本事業を推進しています。この事業をきっかけに、学生サークル活動を基にした体育会も初めて組織化され、現在では学生の賛同および協力の基、天然の芝生化を推進しています。その結果、マナーや自主性の向上など、教育効果も表れ始めております。

上田市は晴天率が非常に高く、芝生の成長にも適しており、丈夫なティフトン種を導入して全面芝生化を目指しております。一方で、予算に限りがあることから、現状では半面がやっとの状態です。本事業の趣旨にご賛同いただける場合は、ぜひご寄附をお願いできればと考えております。

信州大学繊維学部  
学部長 森川 英明

グラウンドの一部を試験的に芝生化しています



3年前のポット苗植え付けの様子



現在の様子

元気に育っています

晴天率の高い上田は芝生の成長にも適しており、丈夫なティフトン種を導入し、全面芝生化を目指します。

# 繊維学部のグラウンドを 芝生化する ために ご寄附をお願いします

お問い合わせ先；繊維学部研究支援  
メール [tex\\_ken@shinshu-u.ac.jp](mailto:tex_ken@shinshu-u.ac.jp)  
電話：0268-21-5597